

平成25年度第3回富里市国民健康保険運営協議会会議録（重要筆記）

招集年月日	平成25年11月14日		
招集の場所	富里市役所 別館2階 大会議室		
開会・閉会の時間	開会 平成25年11月14日 14時00分 閉会 平成25年11月14日 14時28分		
◎会長 ○会長職務代理	氏名	出欠等の別	届出の有無
	◎池田 明	○	
	○大塚 良一	○	
	林田 美恵子	○	
	綿貫 文雄	○	
	大竹 俊子	○	
	田中 章三	○	
	我妻 道生	欠	有
	内田 啓二	○	
	麻野 邦子	欠	有
会議録署名委員	池田 明		
説明のため出席した者の職氏名	国保年金課長	栗原 智彦	
	国保年金課主査	秋葉 忍	
	国保年金課副主幹	新井 弘子	
職務のため出席した者の職氏名	国保年金課主査	岩館 進	
会議に附した事件	別紙のとおり		
会議の経過	別紙のとおり		

平成25年度第3回富里市国民健康保険運営協議会会議次第

日 時 平成25年11月14日(木)
午後2時～

場 所 別館2階 大会議室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 議 題

平成25年度富里市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)(案)について

4 その他

次回会議予定

事務局(案) 平成26年2月6日(木) 午後

※開催する場合は事前に通知します。

5 閉 会

○委員の意見 ⇒市の説明

議題

平成 25 年度富里市国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)(案)について

⇒資料 P2 歳出 5 事業を補正。

1 款総務費 国保事務電算処理事業 入札で差金が出たため減額。

2 款保険給付費 一般被保険者療養給付事業・一般被保険者高額療養費負担事業 不足分の増額。

8 款保健事業費 保健事業人間ドック等助成事業 不足分増額。

11 款諸支出金 諸支出償還事業 国庫支出金返還金の増額。

P 1 歳入 3 事業を補正。

2 款国庫支出金 療養給付費等負担金 一般被保険者保険給付費の増額等による増額。

6 款共同事業交付金 高額医療費共同事業交付金及び保険財政共同安定化事業交付金の増額。

8 款繰入金 事務費等繰入金 国保事務電算処理事業の減額。

その他一般会計繰入金 歳入歳出不足見込額の繰入。

当初予算で一般会計から 1 億円を繰り入、この補正により 2 億 2 千万円強の繰り入れとなります。

12 月補正の合計額は歳入歳出それぞれ 2 億 2,996 万 4 千円を増額。

歳入歳出の総額を 62 億 2,555 万 2 千円。

基金は、9 月補正後の残高と変わらず約 5,700 万円。

○ 一般被保険者療養給付費・高額療養費の給付が伸びているが、このままの状況で伸びていくと、大変な金額になるのかなと思うのですが何か給付を抑えるような対策的なものはありますか。

⇒国保全体の保険者数は、減少しているにも関わらずなぜか給付費が増えている。前期高齢者の方の占める割合が、年々伸びていて高齢化しています。高齢化すれば、医療費は掛かる。尚且つ医療の高度化ということもあり、富里に限らずどこの市町村も医療費が伸びています。

70 歳から 74 歳までの方は、法律的に医療費 2 割ですが、国の政策で 1 割に据え置いているという状況にあります。来年度から国の方でも、2 割に戻すという考えを持っているようです。そうした中で、過剰診療を減らしていき、医療費の削減に繋げようとの考えもあるようです。市の取組では無いのですが、国の政策によって、医療費の削減になる要素は、ございます。市では、ジェネリックの普及とか頻回受診の方に対して、保健指導をするとかの地道なことを積み上げていって削減を図っていくことを継続していきます。

○70 歳から 74 歳までの医療費の 2 割から 1 割が、2 割というのは、もう決まっているのでしょうか。

⇒進め方として、70 歳から 74 歳まですべての方を来年度から実施するという方法と新たに 70 歳になった人から始める方法もあり、国でも検討しているようです。

近日中には、結論が出るものと思います。

○高額療養費の関係で、マスコミなどで取り上げられましたコンピューターのシステムエラーによって起きた高額療養費の未払いや過払いについて、富里市では、該当する案件が有りましたか。

⇒本市ではございません。

○たまに抽出しチェックをして、誤りのないよう注意していただきたい。

⇒承知しました。

○採決に移ります。

平成 25 年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）（案）について、賛成の方は挙手をお願いします。

挙手全員

挙手全員です。この案は、可決されました。

次回の会議日程

2 月の 6 日（木）午後